

教科名	社会	学年	1 学年
-----	----	----	------

目 標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ，社会的事象について関心をもち，具体的に考察する活動を通して，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地域や我が国の国土の地理的環境，現代社会の仕組みや働き，地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について，様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに，情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考えたり，自分の生活と結び付けて考えたり，社会への関わり方を選択・判断したりする力，考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。</p> <p>(3) 社会に主体的に関わろうとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，多角的な思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚，我が国の国土と歴史に対する愛情，我が国の将来を担う国民としての自覚，世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。</p>
学年の目標	<p>社会の様子や働きに関心をもち、社会生活の基本的な「きまり」や「法律」、「日本の自然環境や産業」、「外国の様子」などを自分の生活と結び付けながら理解するとともに、具体的な活動を通して調べたり、考えたり、表現したりすることができる。</p>

月	時 数	単元名  題材名	単元目標  (観点別の目標)	学習内容	評価の観点  (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4 ・ 5	4	【学校のきまりと社会のきまり】 ア 社会参加ときまり	【知識及び技能】 ・学校のきまりと基本的な法律を理解し、自分の生活との関わりについて考えることができる。 【思考、判断力、表現力】 ・きまりがある場合とない場合を比較するなどし、考えたり、表現したりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・きまりの必要性について実感を伴いながら学習し、社会生活に生かそうとする態度を養う。	1 きまりとモラル (1)学校のきまり（校則・ルール・モラル） (2)生活のきまり（社会でのきまりや習慣）  2 社会のルールと法律 (1)日本国憲法の基本原則 (2)社会のルールと法律 (3)社会生活と関係の深い法律	【知識・技能】 1 段階：学校のきまりや基本的な法律を <u>知り</u> 、自分の生活との関わりについて <u>考えよう</u> とすることができる。 2 段階：学校のきまりや基本的な法律を <u>理解</u> し、自分の生活との関わりについて <u>考える</u> ことができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：きまりの <u>大切さ</u> について、 <u>考えたり</u> 、 <u>表現したり</u> できる。 2 段階：きまりがある場面と無い場合と <u>比較</u> するなどし、それぞれの <u>違い</u> について、 <u>判断したり</u> 、 <u>表現したり</u> することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：きまりを <u>意識した態度</u> で、社会生活に <u>生かそう</u> とすることができる。 2 段階：きまりの <u>必要性を理解し</u> 、 <u>社会生活に生かす</u> ことができる。 評価方法：授業態度、課題提出、出席
5 ～ 7	8	【新得町と十勝】 エ 産業と生活 オ 我が国の国土の様子と国民生活，歴史	【知識及び技能】 ・自分たちが暮らす身近な地域の地理的環境、産業、歴史などの特色について、生活に関連づけて理解することができる。 【思考、判断力、表現力】 ・宿泊研修や郷土資料館見学などの機会を通して、具体的に考え、感想をまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・改めて、北海道（十勝）の良さに気づくとともに、地域社会の一員としての態度を養う。	1 身近な地域（新得と十勝） (1)新得町と十勝の特色（地理的環境・産業・交通・歴史、文化など） (2)新得町巡り (3) <u>新得町郷土資料館見学（事前・事後）など</u> (4) <u>新得町の観光資源</u> （外部講師による講話）など  【総合：宿泊研修事前学習】	【知識・技能】 1 段階：身近な地域の <u>地理的環境</u> などを <u>知り</u> 、生活との関わりについて <u>考えよう</u> とすることができる。 2 段階：身近な地域の <u>地理的環境や産業、簡単な歴史</u> などを理解し、生活との関わりについて <u>考える</u> ことができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：具体的な体験を通して、自分の知識と関連させながら、 <u>感想</u> などを発表したり、 <u>文章にまとめたり</u> することができる。 2 段階：具体的な体験を通して、自分の知識と関連させながら、 <u>疑問</u> を感じたり、 <u>質問</u> ができたり、 <u>考えをまとめる</u> など <u>様々な表現</u> をすることができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階： <u>北海道（十勝）の良さに気づく</u> ことができる。 2 段階： <u>北海道（十勝）の良さに気づく</u> とともに、その良さを維持するためには、 <u>何が必要なのか</u> など <u>考えを深める</u> ことができる。 評価方法：授業態度、課題提出、出席
8 ～ 10	12	【北海道と日本の地理】 エ 産業と生活 オ 我が国の国土の様子と国民生活，歴史	【知識及び技能】 ・北海道、日本の自然、産業、気候、文化遺産などに触れ、日本の自然環境を理解するとともに、人々は、自然環境に適応して生活していることを理解することができる。 【思考、判断力、表現力】 【学びに向かう力、人間性等】 ・文化遺産などに着目し、各時代の人々によって生み出された社会事象について、主体的に考えをまとめたり、表現したりすることができる。	1 北海道の特色 (1)地理的環境・産業（食料生産）・交通・歴史、文化 2 日本の地理 (1)地図の見方（方位、縮尺、等高線、緯度・経度） (2)国土の様子、生産物の分布、地形や気候、県の位置、県庁、人口、面積、文化遺産 (3)日本の地理、調べ学習 （東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州・沖縄）  【数学：データの活用、変化と関係】	【知識・技能】 1 段階： <u>大まかに北海道や日本の自然、産業、文化遺産</u> などについて <u>知る</u> ことができる。 2 段階： <u>北海道や日本の自然、主な産業、主な文化遺産</u> などについて <u>理解</u> することができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：北海道や日本の自然、主な産業、文化遺産などを <u>知り</u> 、 <u>簡単な説明</u> ができる。 2 段階：北海道や日本の自然、主な産業、文化遺産などを <u>理解し</u> 、 <u>自分の考えや体験</u> を交えながら、 <u>説明</u> することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：北海道や日本の自然、産業、文化遺産に <u>関わる人々の工夫や努力</u> について、調べたり考えたりする。 2 段階：北海道や日本の自然、主な産業、文化遺産と <u>国民生活</u> を <u>関連付けて主体的に</u> 調べたり、考えたりする。 評価方法：授業態度、課題提出、出席

11 ～ 2	7	【国や社会のしくみ】  イ 公共施設の役割と制度	【知識及び技能】 ・日本の政治の基本的な仕組みや働きについて理解するとともに、国や地方公共団体の政治の取り組みについて理解することができる。 【思考、判断力、表現力】 ・国民生活における政治の働きを考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本国憲法や法によって権利が保障されていることや義務を課せられることなどの意味を理解し、主体的に社会と関わろうとする態度を養う。	1 政治の仕組と働き (1)選挙のきまりと仕組み (2)国会の具体的な役割 (3)内閣の具体的な役割 (4)裁判所の具体的な役割について 2 地方公共団体について (1)地方公共団体の仕組みと働き (2)町議会訪問など 3 生活に関連深い制度について (1)福祉に関する各制度  【特別活動：生徒会役員選挙】 【職業：いろいろな仕事、勤労と生活】	【知識・技能】  1 段階：日本や地方公共団体の <u>政治の基本的な仕組みや様々な制度について知る</u> ことができる。  2 段階：日本や地方公共団体の <u>政治の仕組みや様々な制度について理解し、生活と関連づけて考える</u> ことができる。
					【思考・判断・表現】  1 段階：日本の政治や様々な制度について、 <u>生活と関連づけながら考える</u> ことができる。  2 段階：日本の政治や様々な制度について、 <u>生活と関連づけながら説明する</u> ことができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】  1 段階：政治の仕組みや様々な制度を知ることを通して、 <u>社会に主体的に関わろうと</u> することができる。  2 段階：政治の仕組みや様々な制度を知ることを通して、 <u>社会に主体的に関わる</u> ことができる。
					評価方法：授業態度、課題提出、出席
2 ～ 3	4	【外国の様子と国際平和】  オ 我が国の国土の様子と国民生活, 歴史  カ 外国の様子	【知識及び技能】 ・世界と日本の異なる文化や習慣を理解するとともに地理的環境、気候、産業の特色、国際平和に関する取り組みなどを理解することができる。 【思考、判断力、表現力】 ・外国の人々の生活様式や国際平和に関わる事項に着目し、考えたり、表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・外国との文化や習慣の違いに触れ、互いに尊重し合うことのできる態度を養う。	1 世界の中の日本 (1)世界と日本（地図上の位置、比較、文化・習慣の違い、民族 その他） 2 主な国々 (2)（国土の様子、産業、地形、気象、首都、人口、面積、文化遺産）  【数学：データの活用、変化と関係】 【理科：自然（気象、暮らしとエネルギー）】	【知識・技能】  1 段階：世界の文化や習慣、主な国々の地理的環境、産業、首都、人口、文化遺産等など、日本と関連づけながら違いや関わりについて大まかに <u>知る</u> ことができる。 2 段階：世界の文化や習慣、主な国々の地理的環境、産業、首都、人口、文化遺産等など、日本と関連づけながら違いや関わりについて大まかに <u>理解</u> することができる。
					【思考・判断・表現】  1 段階：外国の人々の生活様式に関わる事項に着目し、 <u>自分なりに考えたり、表現したり</u> することができる。  2 段階：外国の人々の生活様式に関わる事項に着目し、 <u>自分なりの考えをまとめたり、表現したり</u> することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】  1 段階：外国との文化や習慣の違いに触れ、互いに <u>尊重し合うことの大切さを知る</u> ことができる。  2 段階：外国との文化や習慣の違いに触れ、互いに <u>尊重し合うことの大切さを表現する</u> ことができる。
					評価方法：授業態度、課題提出、出席